

地域とともに伸びゆく下田っ子

下田北小学校（天草町）
6年 高見 彩

私たちの住む下田北は、下田温泉と青い海、そしてたくさんの自然にかこまれたすてきな町です。そして、下田北小学校の校門からは、西海岸にしずむ夕日がとてもきれいに見えます。私たちの学校では、11月に『しらさぎフェスタ』という行事があります。おうちの人だけでなく地域の人たちも招待して、劇や合奏を見ていただいたり、私たちの手作りの出店でゲームなどを楽しんでもらったりします。このほかにも、地域の人たちに郷土料理を教えていただいたりするなど、いろいろな交流をしています。これからも、地域の人たちとたくさん交流をして、もっともっと下田北のことを知っていきたいと思います。



“しらさぎフェスタ”で出店をするようす。
「いらっしゃい、いらっしゃい！」

ぼくのわたしの
学校部活
自慢



エコレンジャーを結成し、
環境ISO宣言集会で発表する児童たち

みんなで取り組んだ環境問題

宮野河内小学校（河浦町）
6年 島崎真由

宮野河内小学校では、2年ほど前から環境のことについて学習しています。環境について学ぶ中で、環境問題がこんなに身近なことであると初めて知りました。今まで水や電気をたくさん使って、環境に良いとはいえないこともたくさんしていたからです。そこで、学校や家庭で使った水を、校内や自宅の植木鉢や畑に再利用したり、夏休みに親子で海岸清掃活動に取り組んだりしました。その結果、環境を守ろうという意識がかなり高まりました。これからも、環境のことについて考え、行動し、身近なことからエコを広めて、宮野河内の自然やかかげえのない地球環境を、みんなで守っていこうと思います。

宝島の健康
よさげ屋

藤平朝憲さん
(御所浦町嵐口・82歳)



◆毎日の楽しみは？

カラオケが大好きで、特に演歌をよく歌っています。また、グラウンドゴルフも友だちと楽しんでいます。人とのふれあいを大事にして、毎日明るく元気に過ごしています。

◆健康の秘けつは？

かぜをひかないように、また転倒しないように気をつけています。食事でも腹八分を心がけ、好き嫌いをせず何でも食べます。また、何事にもよくよせず明るい気持ちでいることが一番ですね。



猪原由佳さん（栖本町湯船原・25歳）

昨年、6年ぶりに帰郷し、栖本太鼓踊りで全国青年大会に出場しました。結果は、見事“最優秀賞”を受賞。伝統を必死に守っていこうとする青年団のみなさんの熱意と、こぼれる涙にとっても感動しました。このことを忘れず、通訳の仕事という夢に向かってがんばります。

豊かな感性をはぐくんでいます！

本渡南幼稚園（川原町）

本渡南幼稚園（鶴田康代園長・全園児68人）の子どもたちは、明るくすなおで元気いっぱいです。園では、「みずから気づき、考え、行動できる子どもの育成」を目ざし、保護者や地域の人たちとの花・野菜の栽培、おじいちゃん、おばあちゃんのお月見だんご作りなど、さまざまな体験活動を行っています。また、誕生会には地域の人たちを招いて、楽器演奏や手品などの特技を披露していただき、子どもたちも毎回楽しみにしています。未就園児親子体験活動（いちごクラブ）も毎月実施しており、園児との交流も活発です。

きらきらした笑顔と、笑い声あふれる本渡南幼稚園に、ぜひ遊びに来てください。



元気いっぱい30人のすみれぐみ

このゆびとくまれ



地域の火と“伝承遊び”をする園児

おじいちゃん、おばあちゃんありがとう

おれんじ保育園（深海町）

おれんじ保育園（川畑安廣園長・全園児14人）は、“強い子・明るい子・考える子”を保育目標に、物事をやり通すたくましさや心情豊かな心、考え工夫する態度が身につくことを願っています。地区の老人会との交流会では、園児が田んぼで見つけた七草で“七草がゆ”を作り、無病息災を願っていっしょに食べました。毎年行う伝承遊びでは、おじいちゃんが昔とったきねづかでこま回しをして、子どもたちからは大歓声。また、おばあちゃんの見事なお手玉の披露に目を丸くしたり、あやとりでは指に糸がからまり互いに大笑いするなど、たいへんにぎわいました。今後も、こんな和やかな時が続くことを期待しています。

地域づくり
コーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

お年寄りのまちで地震が発生したら…

魚貫地区振興会（会長 見分一代）

日本中で少子高齢化が大きくな社会問題となつていますが、私たちの魚貫町も高齢化率が39・7%（平成22年2月末現在）であり、また、まごころ弁当を宅配する75歳以上の単身世帯が95世帯で、全世帯の17%を占めています。魚貫地区振興会では、このような高齢者のまちで「地震が発生したらどうなるか」という発想のもと、『自主防災組織訓練』を行っています。訓練は、魚貫港沖で地震が発生し、津波の恐れがあるので一時避難所から高台へ避難するとの想定。参加者たちは、班を編成して誘導ロープを持ち、みんなに遅れないように必死になつて高台を目指します。その後、消火訓練やAED（自動体外式除細動器）講習を実施



▲避難訓練をする参加者